

かなざわ11月号

平成29年10月31日

横浜市立金沢小学校

横浜市金沢区町屋町26-26

☎781-2401

輝く 金沢小

児童支援専任 外川かおり



子どもたちが自分と周りの人や社会との関係を見つめ、だれもが安心して生活できる子ども社会を作ろうとする全市や区の取組に6年生の児童が参加しました。

8月に「横浜子ども会議」が行われました。中学校ブロックと金沢区全体での2日間を通して、日々できる具体的な取組を考えました。参加した6年生 小堀雛美さんの報告を紹介し

「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう」をテーマに話し合いました。話し合いの中で、相手を思いやることが大切ではないかという結論になりました。子ども会議を受けて、金沢小の児童運営委員会では、正しいことを言える人を大切に、思いやりのある仲間を増やす取組をすることになりました。私は、子ども会議に参加して、同じテーマについて話す一体感と新しい意見が次々と出てくる楽しさを感じることができました。いじめた人もいじめられた人も心が傷つくから、私は、いじめは絶対あってはならないと思います。金沢小のみなさんが、お互いを思いやり生活し、楽しく学校生活を送れるようにしていきたいです。みなさんもお互いを思いやり毎日を過ごしましょう。

金沢警察署が中心となって開催した「金沢区 非行・被害防止サミット」に6年生 久保寺晴さん、小堀雛美さん、中津愛唯さん、福田あいさん、木川翠倅さん、高瀬妃美さんが参加し、金沢区の小学校を代表して発表しました。

今年の金沢小の児童会テーマは「自分から行動！輝け金小！～めざせ全力～」です。このテーマには、「自分から行動できる人間になろう。」「一人ひとりが行動できる人間が集まれば安心できる金小になる。つまり輝く金小になる。」という思いが込められています。そして、私たちは安心できる金小になるために「信頼し合うことが大切」だと考えました。

6年生は、高学年になってから信頼関係が築けていると感じている人が多く、その理由としては、誰にでも相談できる、困った時に助け合うことができる、思っていることが言えることが挙げられました。さらに信頼関係を築くためには、相手の気持ちを考えて行動する、友達に優しくする、自分で善悪を判断して行動する、が大切だと思います。その中で、今、できることは、「自分からあいさつをする」「自分も友達も好きになる」です。現在、金沢小では、「あいさつ運動」や「自分大好き 友だち大好き」に全校で取り組んでいます。

金沢小学校の最高学年としてリーダーシップをとっている私達6年生は、信頼関係を築くことで誰とでも仲良くすることができるようになりました。それから学年が団結し、最高学年としてリーダーシップを発揮しています。これまでの経験を生かし信頼関係を作ることで誰とでも仲良くすることができ、学年だけでなく全校の中を深めていきたいです。そして、輝く金小を目指します。

参加した児童が、10月の朝会で報告をしてくれました。全校児童は真剣に話を聞き、自分には何ができるかを考えることができました。地域の皆様、保護者の皆様との絆を強め、誰もが安心して生活できる金沢小学校を築いていきたいと思っています。